



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 マナック株式会社  
 コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 杉之原 祥二  
 (氏名) 石井 潔

TEL 084-954-3330

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,411	△6.3	163	—	244	270.2	170	236.4
27年3月期第3四半期	6,840	1.4	△63	—	66	153.8	50	255.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 185百万円 (△41.0%) 27年3月期第3四半期 314百万円 (37.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	21.20	—
27年3月期第3四半期	6.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	13,109	9,130	69.6	1,136.56
27年3月期	12,508	9,005	72.0	1,120.94

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 9,130百万円 27年3月期 9,005百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	5.00	7.50
28年3月期	—	2.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	3.0	320	—	380	170.3	240	—	29.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	8,625,000 株	27年3月期	8,625,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	591,638 株	27年3月期	591,460 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	8,033,471 株	27年3月期3Q	8,033,736 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国を始めとした新興国経済の景気減速、資源価格の大幅下落、欧州・中東における地政学的リスクの高まりにより不透明感が強まりましたが、米国・欧州を中心とした先進国の堅調な需要に支えられ、全体としては底堅く推移しました。日本経済につきましては、世界経済の先行きに対する不透明感が高まる中、企業の業況判断に一部慎重さが見られるものの、企業業績や雇用・所得環境の改善や訪日外国人によるインバウンド消費の拡大により、総じて景気の緩やかな回復基調が継続しました。

このような環境の下で、当社グループは、高付加価値新製品の開発、国内外における新規市場開拓及び販売促進による販路開拓、新規事業の創出等に努めました。競合他社との競争激化及び当社グループ製品需要の伸び悩みにより、売上高は前年同四半期を下回りました。反面、採算是正及びコストダウン等による収益改善に努めたことと、連結子会社の採算が改善したことにより、営業利益は前年同四半期を上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は6,411百万円（前年同四半期比△428百万円、6.3%減）、営業利益は163百万円（前年同四半期は営業損失63百万円）、経常利益は244百万円（前年同四半期比+178百万円、270.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は170百万円（同+119百万円、236.4%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、当社におけるディスプレイ材料中間体等の伸び悩み及び連結子会社における輸出等の販売不振により、売上高は前年同四半期を下回りました。反面、当社において高収益の医薬中間体等の販売が増加したことと、連結子会社の採算が改善したことにより、セグメント利益は前年同四半期を上回りました。

その結果、当社グループの売上高は3,326百万円（前年同四半期比△230百万円、6.5%減）、セグメント利益は377百万円（同+129百万円、52.1%増）となりました。

## ② 難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、IT産業関連製品及びデジタル家電製品に使用されるプラスチック用難燃剤の需要縮小や建築材料用途の難燃剤の伸び悩みにより、売上高は前年同四半期を下回りました。反面、円安による輸出販売の採算性改善や国内販売における採算是正等により、セグメント利益は前年同四半期を上回りました。

その結果、売上高は2,326百万円（前年同四半期比△66百万円、2.8%減）セグメント利益は293百万円（同+52百万円、21.9%増）となりました。

## ③ ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、人工透析液剤の原料における国内需要は安定しているものの、市場自体が縮小傾向にあり、また固定化抗菌剤の需要が伸び悩んでいることから、売上高及びセグメント利益とも前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は758百万円（前年同四半期比△132百万円、14.8%減）、セグメント利益は101百万円（同△2百万円、2.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて600百万円増加し、13,109百万円となりました。これは主に、売上債権及び棚卸資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて475百万円増加し、3,978百万円となりました。これは主に、買掛金、短期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて125百万円増加し、9,130百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益増加に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、平成27年5月14日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,322,548	2,410,232
受取手形及び売掛金	2,800,459	3,033,620
有価証券	276,989	65,359
商品及び製品	989,213	1,309,109
仕掛品	486,991	526,120
原材料及び貯蔵品	415,914	460,413
繰延税金資産	73,247	49,271
その他	139,769	149,264
貸倒引当金	△2,573	△2,669
流動資産合計	7,502,560	8,000,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	910,296	888,462
機械装置及び運搬具(純額)	578,243	597,872
土地	743,918	743,918
建設仮勘定	31,919	83,224
その他(純額)	130,923	131,335
有形固定資産合計	2,395,301	2,444,814
無形固定資産		
投資その他の資産	2,677	2,646
投資有価証券	2,303,655	2,369,032
関係会社長期貸付金	108,100	107,700
その他	196,851	184,975
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	2,608,007	2,661,108
固定資産合計	5,005,986	5,108,569
資産合計	12,508,547	13,109,293

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,077,484	1,425,137
短期借入金	927,265	1,143,007
未払法人税等	61,851	4,721
賞与引当金	118,281	62,611
その他	487,746	673,101
流動負債合計	2,672,629	3,308,580
固定負債		
長期借入金	506,977	348,942
繰延税金負債	164,499	199,143
役員退職慰労引当金	54,729	54,729
その他	104,587	67,464
固定負債合計	830,793	670,279
負債合計	3,503,422	3,978,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	4,936,232	5,046,304
自己株式	△244,022	△244,107
株主資本合計	8,397,559	8,507,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	402,067	447,060
繰延ヘッジ損益	—	△2,397
為替換算調整勘定	205,497	178,222
その他の包括利益累計額合計	607,565	622,886
純資産合計	9,005,124	9,130,433
負債純資産合計	12,508,547	13,109,293

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,840,587	6,411,838
売上原価	5,767,425	5,127,018
売上総利益	1,073,161	1,284,819
販売費及び一般管理費	1,136,445	1,121,066
営業利益又は営業損失(△)	△63,283	163,752
営業外収益		
受取利息	9,989	14,559
受取配当金	43,622	39,809
為替差益	45,094	—
受取ロイヤリティー	3,737	5,064
その他	48,288	77,490
営業外収益合計	150,733	136,924
営業外費用		
支払利息	13,581	14,086
為替差損	—	18,624
デリバティブ評価損	2,031	21,381
その他	5,707	1,790
営業外費用合計	21,320	55,883
経常利益	66,129	244,794
特別利益		
固定資産売却益	409	2,473
投資有価証券売却益	26,121	5,167
特別利益合計	26,531	7,640
特別損失		
固定資産除却損	3,029	5,150
固定資産売却損	24,090	—
特別損失合計	27,120	5,150
税金等調整前四半期純利益	65,540	247,284
法人税、住民税及び事業税	28,805	38,211
法人税等調整額	△13,890	38,749
法人税等合計	14,914	76,960
四半期純利益	50,626	170,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,626	170,323

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	50,626	170,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152,520	44,993
繰延ヘッジ損益	4,524	△2,397
為替換算調整勘定	107,032	△27,274
その他の包括利益合計	264,078	15,321
四半期包括利益	314,704	185,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,704	185,645
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,557,217	2,392,798	890,571	6,840,587
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,557,217	2,392,798	890,571	6,840,587
セグメント利益	248,022	240,541	103,641	592,204

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	592,204
全社費用(注)	△655,488
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△63,283

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,326,744	2,326,665	758,429	6,411,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,326,744	2,326,665	758,429	6,411,838
セグメント利益	377,198	293,241	101,491	771,931

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	771,931
全社費用(注)	△608,178
四半期連結損益計算書の営業利益	163,752

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。